

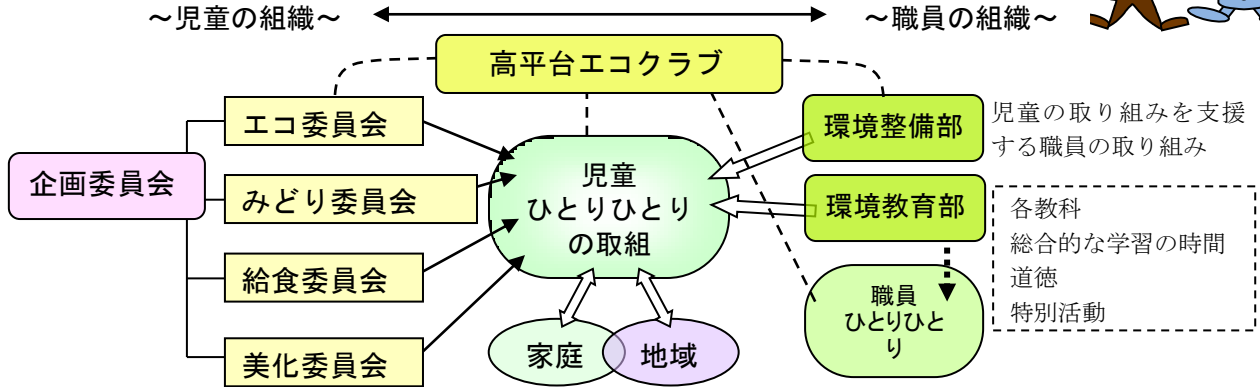
めざそう！！地球にやさしいくらしかた

平成29年度学校版環境ISOへの取り組み

熊本市立高平台小学校

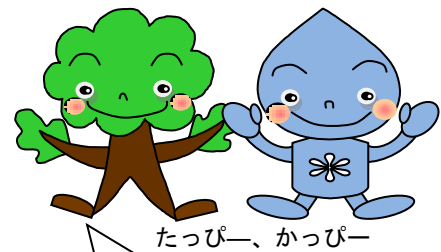


1 組織



2 宣言

- 自然エコ
生きもののすごいパワーにまなぼう
～いきものにやさしいきもちでくらし～
- 電気エコ
スイッチをこまめにON・OFF
～つけっぱなしはもったいないよ～
- 水エコ
はみがきにコップ、そうじにバケツ
～流しっぱなしはもったいないよ～
- 紙エコ
だいじにつかってきちんとわけよう
～めんどうなことなれとらくらく～
- ものエコ
じぶんのものにははっきりなまえ
～おとしでもかえってくるよ～



子どもたちは
5つのことに取
り組んでいます

職員は・・・



- 排出ごみを減らします
 - ・紙の両面印刷とリサイクル
- 茶がらなどを利用します
 - ・生ごみ処理機の活用
- 校舎内外の環境整備につとめます
 - ・多様な生物が息づく学校環境づくり
- 取り組みを家庭や地域に伝えます
 - ・学校だよりなどで

高平台小かんきょう(環境)ISOせんげん(館)

～めざそう！！地球にやさしいくらしかた～

自然エコ

生きもののすごいパワーにまなぼう
いきものにやさしいきもちでくらし

電気エコ

スイッチをこまめにON・OFF
つけっぱなしはもったいないよ

水エコ

はみがきにコップ、そうじにバケツ
ながしっぱなしはもったいないよ

紙エコ

だいじにつかってそれぞれリサイクル
めんどうなことなれとらくらく

ものエコ

じぶんのものにははっきりなまえ
おとしでもかえってくるよ

わすれないうで、「ありがとう」「もったいない」の心

ちかごろはくは...
・だんだんあつくなってきた
・あがけてあがしやみやう
・大雨や台風がふえてきた
・あがどんどんへつてきた
・生きものやあそびものが減っている
・あそびものがあつまっている

3 行 動

(1) 自然エコ (自然とのふれあいの中で環境について学び合い、自然を大切にします)

～みどり委員会を中心とした活動～

集めた落ち葉を腐葉土にする



整備する



腐葉土の切り返しは、みどり委員会で



腐葉土は、養分となって土にかえり花を咲かせる

次の花や野菜を育てる土
のようぶんになるんだ

みどり委員会は、校内の樹木や草花、自然環境の世話をしている。樹木札を作成したり、雨水タンクの水を草花の水やりに利用したりしている。

～みんなで守る学校の自然環境～

学校の環境を守るボランティア



この葉っぱは、
堆肥になるよ



月に1度のフレッシュタイム(全学年)

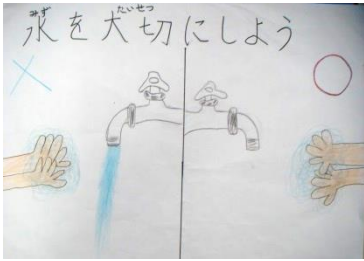
次に、使える
ようにして
おこう



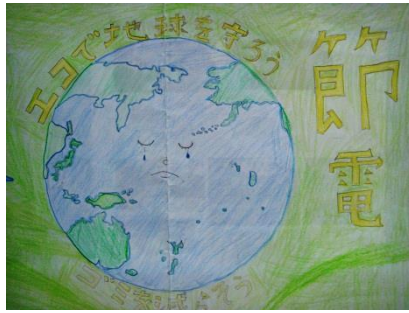
大きく育つ
てね



(2) 水エコ (水を大切に使います) 電気エコ (電気のスイッチをこまめに切ります)



ポスターで呼びかけ



各クラスで、係を決めて
体育の時や特別教室に移動
するときの消灯確認を行う。



消しまーす。

～エコ委員会を中心とした活動～

(3) 紙エコ (古紙のリユースとリサイクルにつとめます)

児童の「リサイクルを活発にしたい」という考えの高まりを受け、エコ委員会と職員で平成20年度から市の再生資源集団回収助成制度に申請(団体名「高平台エコクラブ」)している。年間を通して回収活動に取り組み、助成金ではトイレットペーパーを購入している。



エコステーション



およそ1週間でエコステーションは、古紙でいっぱいになる。金曜日の昼休みにはエコ委員会でエコ倉庫に移動保管し、回収を待つ。

各家庭から出る古紙、各クラスで出る古紙、学校全体から出る古紙をエコステーションに集める。各月はじめの1週間を「リサイクル週間」として学級単位で回収量を測った。



エコ倉庫

(4) ものエコ (物は最後まで大切に使います)

「落し物コーナー」ものを大切にすることを高める。
・拾って届ける ・落とした物を探す ・記名する



暮らしを見直す
チェックコーナー
(大切に使う
意識づけ)



PTAとの連携

標準服のリユースバザー (新入学説明会など)



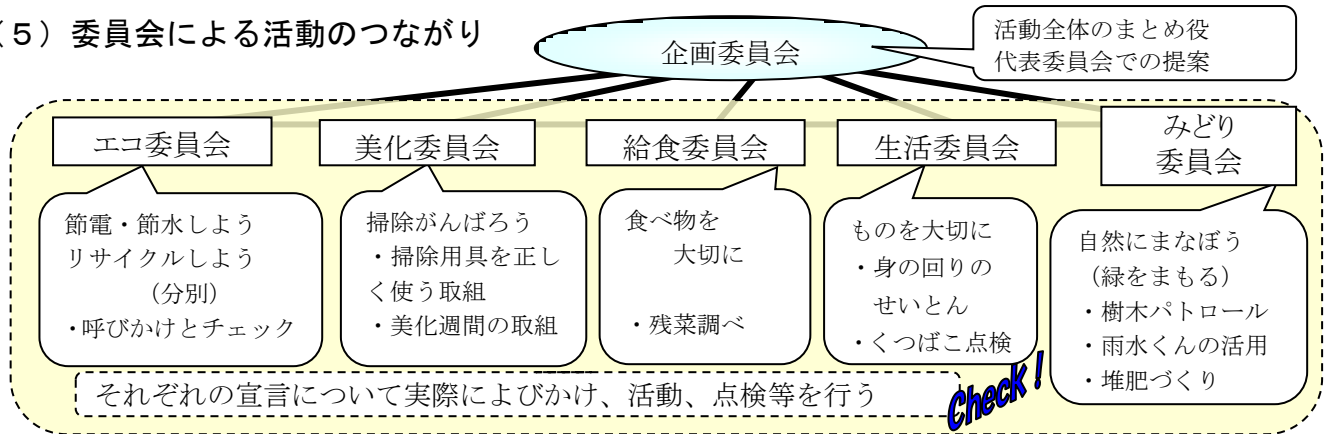
物を大切に
使い合うと
いう意識
が、保護者
にも根づい
ている。

茶がらや調理くずの活用



職員室の茶がらも堆肥化し、土に帰している。

(5) 委員会による活動のつながり



4 記録・見直し

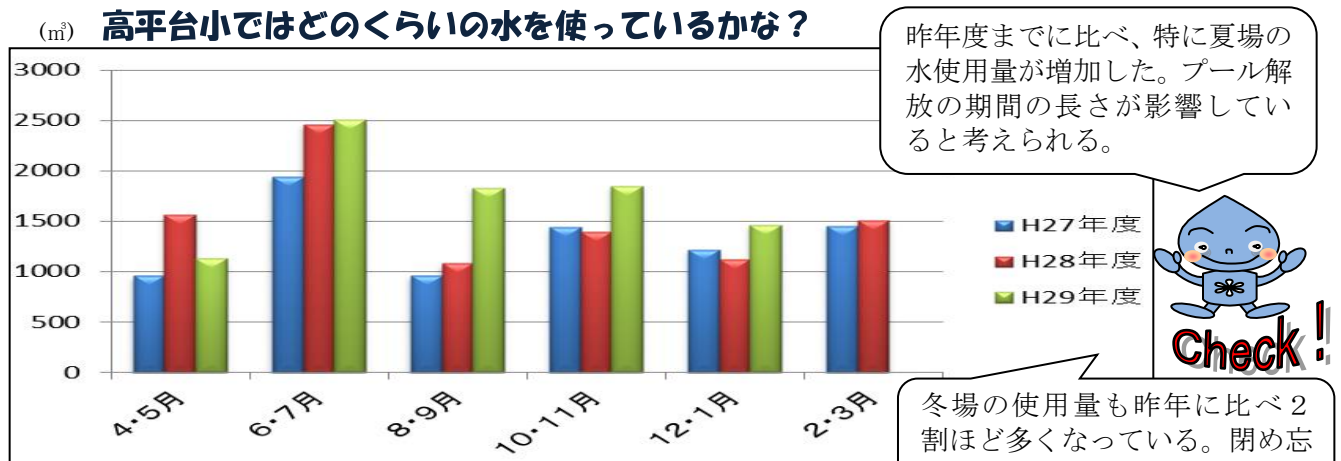
(1) 児童集会での呼びかけ

みどり委員会は、学校の自然を守ることに
ついて児童集会で紹介した。

エコ委員会は、毎月の「リサイクル週間」
への協力を校内放送で呼びかけ、多かった学級を紹介し表彰した。



(2) 水の使用量のグラフでチェック (平成27～29年度)

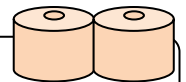


(3) エコステーション、エコ倉庫に集まる紙の量でチェック

エコ委員会では、古紙をより多く集めることについて話し合い取組んだ。①各クラスをまわり呼びかける。校内放送を通して呼びかける。②毎月初めにリサイクル週間を設定し、学級ごとの集まった量を重さではかり、多かった学級をエコ委員会が表彰する。

古紙回収によりトイレットペーパーを購入 ～目標1年分～

児童は、自分たちで運べる量を少しずつ持ち寄っている。保護者の方も、運んでいただいたりした。本年度(12月まで) 回収古紙代 33853円、熊本市助成金26700円で58735円分のトイレットペーパーを購入。3月までの1年分という目標を達成できる見込み。



5 成果と課題

- 毎月の水使用量をチェックすることにより職員は増加理由を考えるようになった。昨年度は地震により夏休みプール開放がなく夏の水使用は多くなかったが、今年は増加した。また、冬場の工事による使用量の増加もあった。今後もチェックは必要である。
- リサイクル活動に保護者をまき込んだことは効果的であった。家庭の古紙を学級ごとに集めたことで、児童の意識も高めることができた。
- 日々の活動の価値を児童と職員に毎年分かりやすく伝えることが必要である。

